

第3海兵遠征軍 (MEF)

コマンド・ブリーフ
2009年10月



UNCLASSIFIED



第3海兵遠征軍作戦地域

米国本土から遠すぎる距離

- 空路で24時間
- 海路で数週間

潜在的フラッシュポイント：

- 世界の自然災害の60%
- 地域的國家不安定
- 過激な活動家集団

Okinawa

Hawaii

Guam

地域的特徴：

- 世界の人口の60%
- 43カ国
- 最大のイスラム国家（インドネシア）
- 最大の民主主義国家（インド）
- 共産主義国家（中国）
- 世界有数の軍事力が集中（中国、インド、北朝鮮、韓国、ロシア、ベトナム）
- 米国の主要な防衛協定7つのうち5つ
- 散在する沿岸地域（フィリピンの7000の島とインドネシアの1万7500の島）
- 戦略的交通路、要衝（マラッカ、スンダ、ロンボク海峡）



第3海兵遠征軍及び海兵隊基地





第3海兵遠征軍展開概要

海兵隊員及び水兵 2万5000人

キャンプ・ムジユク

キャンプ富士

海兵航空群
戦闘役務支援部隊分遣隊

海兵隊 岩国航空基地

Okinawa

Hawaii

海兵隊基地 キャンプバトラー
海兵隊 普天間航空基地
ジャングル戦闘訓練センター(北部訓練場)

海兵隊基地 カネオヘ・ベイ

第3海兵遠征軍司令部
(第3海兵遠征旅団司令部)
第3海兵遠征軍司令部群
第3海兵師団
第1海兵航空団
第3海兵兵站群
第31海兵遠征隊

歩兵連隊
海兵航空群
戦闘役務支援群

- > 1万6000 沖縄の6キャンプ
- > 3000 日本本土
- > 5000 ハワイ

日米合意実施計画(AIP)



「部隊配備計画(UDP)」部隊は、「イラクの自由作戦(OIF)」以前の配備地・二次的所属基地

合計:約2万
7300人

岩国

- 第12海兵航空群(固定翼)
- KC-130 中隊
- 基地支援 約3200(3000)
- 第5空母航空団 約2000

ハワイ

- 太平洋海兵隊基地司令部
- 第3海兵連隊(歩兵)
- 第24海兵航空群(回転翼)
- 戦闘兵站連隊
- 基地支援 約5,600(5,400)

沖縄

- 第31海兵遠征隊(司令部司令部部隊)
 - 第4海兵連隊(4個歩兵大隊)
 - 第36海兵航空群(回転翼)
 - 戦闘兵站連隊
 - 基地支援
- 約10,200(9,800)

グアム

- 第3海兵遠征軍司令部部隊
 - 第3海兵師団司令部
 - 第12海兵連隊(砲兵)
 - 第1海兵航空団司令部
 - 重ヘリ中隊(D)
 - 第3海兵兵站群司令部
 - 野営地支援
- 約8300(7900)

2009会計年度(配置予定図)



日米合意実施計画(AIP)

UDP部隊は、「イラクの自由作戦(OIF)」以前の配備地・二次的所属基地

合計:約2万
7300人

岩国

- 第12海兵航空群(固定翼)
- KC-130 中隊
- 基地支援
約3200(3000)
- 第5空母航空団
約2000

ハワイ

- 太平洋海兵隊基地司令部
- 第3海兵連隊(歩兵)
- 第24海兵航空群(回転翼)
- 戦闘兵站連隊
- 基地支援
約5600(5400)

沖縄

- 第31海兵遠征隊(司令部部隊) ???
- 第4海兵連隊(4個歩兵大隊)
- 第36海兵航空群(回転翼機) ???
- 戦闘兵站連隊
- 基地支援
約1万200(9800) 実数1,800

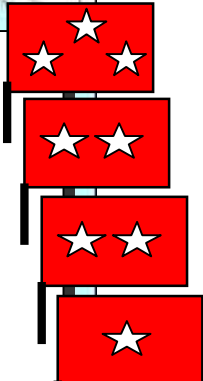
グアム

- 第31海兵遠征部隊(司令部)
- 第36海兵航空群(回転翼) [25機]

- 歩兵大隊(800人)
- 迫撃砲兵隊(150人)
- 航空部隊(250人)
- その他(800人)

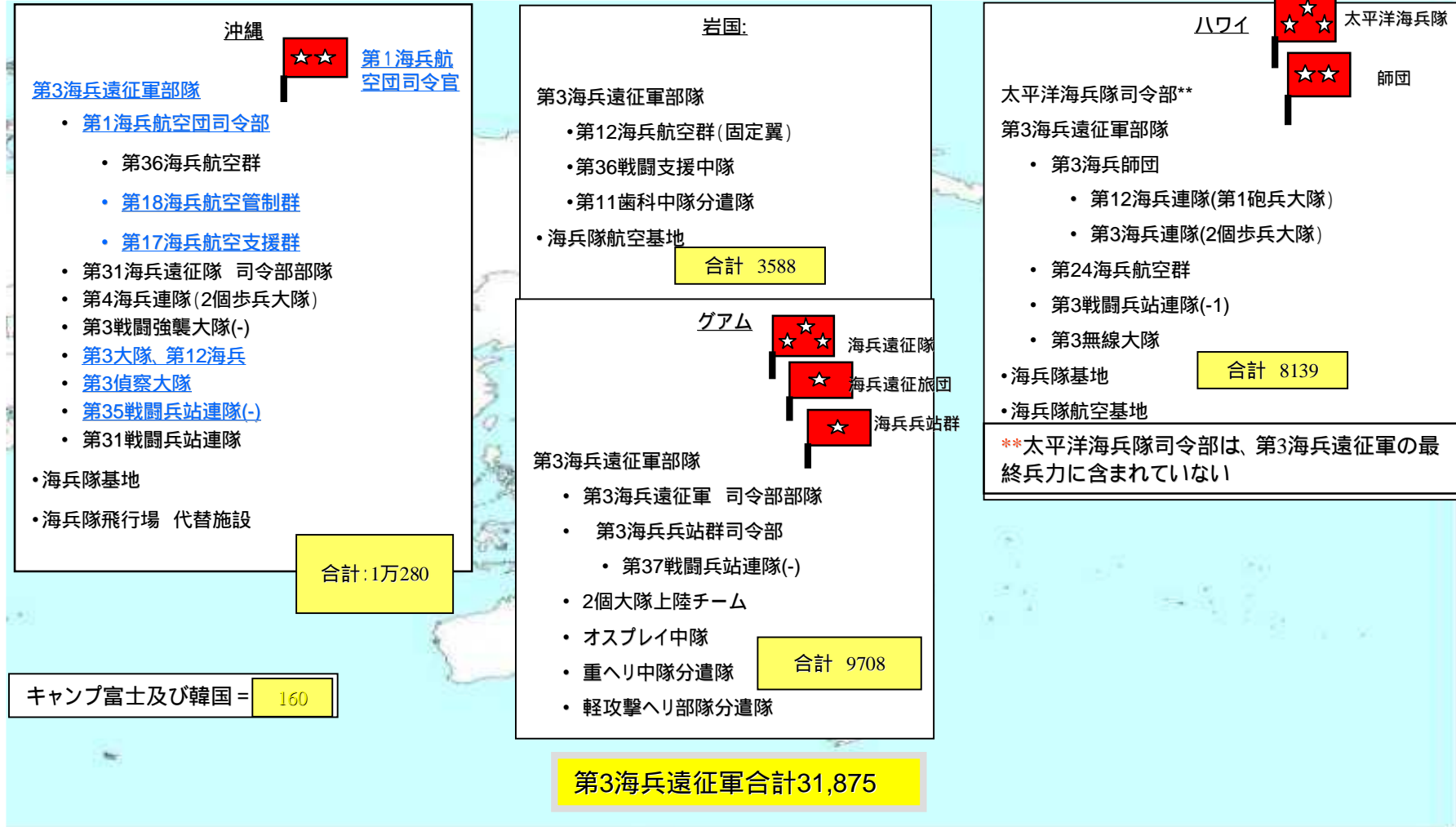
グアム

- 第3海兵遠征軍司令部部隊(3,046人)
- 第3海兵師団司令部 (1,100人)
 - 第12海兵連隊(砲兵)
- 第1海兵航空団司令部(1,856人)
 - 重ヘリ中隊(D)[12機]
- 第3海兵兵站群司令部(2,550人)
- 野営地支援
1万600 ー約8,300(7,900)



2009会計年度(配置予定図)

第3海兵遠征軍の望ましい配置



青色下線表示の部隊はグアム移転後、再度沖縄に戻ってくることが想定される部隊。【宜野湾市注釈】
引用: 2008年9月15日米国防総省グアム軍事計画報告書



第3海兵遠征軍司令部群

海兵隊員及び水兵 2500

第3無線大隊

Okinawa

Hawaii

第3海兵遠征軍司令部群

- 第3海兵遠征軍司令部部隊
- 第7通信大隊
- 第3情報大隊
- 第5空海砲擊連絡中隊
- 第3海兵遠征軍特別作戰訓練群
- 第3海兵遠征軍戰術演習統制群



第3海兵師団

海兵隊員及び水兵 9250人

UDP配備を除くと6700人

第3海兵連隊

- 3個歩兵大隊

1個 砲兵大隊(1/12)

戦闘強襲中隊



Okinawa

Hawaii

第3海兵師団司令部

- 司令部大隊

- 第4海兵連隊

・司令部のみ

- 第12海兵連隊

・1個砲兵大隊司令部(3/12)

- 戦闘強襲大隊

- 第3偵察大隊



第1海兵航空団



海兵隊員及び水兵 7280人

第12海兵航空群 (固定翼)

- 3個 F18ホーネット中隊

- 1個 ハリアー中隊 (MEU = 海兵遠征隊)

Iwakuni

Okinawa

Hawaii

第1海兵航空団

司令部

- 第36海兵航空群 (回転翼)

▪ 2個 CH-46E 中型ヘリ中隊

▪ 1個 KC-130 空中給油機中隊

- 第17海兵航空支援群

- 第18海兵航空管制群

第24海兵航空群 (回転翼)

- 3個 CH-53D 中隊





第3海兵兵站群

海兵隊員及び水兵 5200

第3海兵兵站群

- 37戦闘兵站連隊
- 第35戦闘兵站連隊
- 第3戦闘兵站連隊
- 第9工兵支援大隊
- 第31戦闘兵站大隊
- 第3医療大隊
- 第3歯科大隊

第36戦闘兵站中隊

Iwakuni
Okinawa

Hawaii

遠征能力に貢献

第3戦闘役務支援群





第3海兵遠征旅団



海兵隊員及び海軍
2500 - 1万
7500人



部隊*:

- 地上戦闘部隊
 - 歩兵連隊上陸チーム
- 航空戦闘部隊
 - 混成航空群
- 兵站戦闘部隊
 - 戦闘兵站連隊

戦略的機動性

- 水陸両用輸送
- 海上事前集積中隊
- 戦略航空
- 高速艇

- 第3海兵遠征司令部部隊に配属の第3海兵遠征旅団スタッフ
- 規模調整可能・適応可能の海兵空地任務部隊として海兵遠征軍への拡大可能に

*海兵遠征軍隷下各司令部から調達



第31海兵遠征隊 (MEU)



海兵隊員及
び水兵 2200
人



- 危機対応戦力
- 水陸両用即応群(佐世保)を構成するのは:
 - 第11水陸両用中隊(PHIBRON 11)
- 海兵遠征隊(沖縄)を構成するのは:
 - 海兵遠征隊司令部部隊
 - 大隊上陸チーム(歩兵大隊(Rein))
 - 混成航空中隊(中ヘリ中隊, 軽攻撃ヘリ部隊, 重ヘリ中隊, 攻撃中隊
VMA)
 - 戦闘ロジスティック大隊

UNCLASSIFIED

高速輸送艦 (HSV)

HSV ウエストパック・エクスプレス



即応パッケージ

- 最高速度 33ノット
- 航続距離 1240海里 (2282km)

584トン

- 海兵隊970人 (122m / トン)
- 462m / トンの貨物
- C-17 20回分の供給

8機のヘリコプター搭載

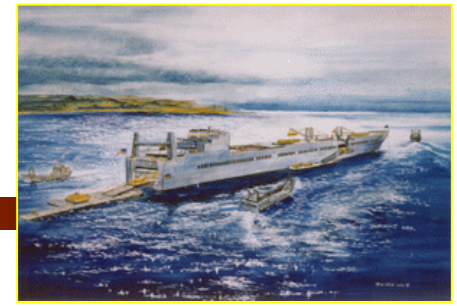
MEFの作戦地域に確立された港 20

主要港

- 横浜
- 浦項
- 釜山
- 平澤
- スービック湾



第3海上事前集積船中隊



海外緊急対応作戦



- OIF (イラクの自由作戦)
 - 1個歩兵大隊
 - 1個戦闘工兵小隊
 - EOD(爆発物処理班)分遣隊
- OEF - A (不朽の自由作戦 - アフガニスタン)
 - アフガニスタン陸軍配属訓練チーム (ANA ETT)
 - 1個連隊戦闘チーム司令部
 - 1個歩兵大隊
 - 1個CH-53D航空中隊
 - KC-130分遣隊
 - 海兵航空C2・兵站支援中隊
- OEF H (アフリカの角) : 通信分遣隊
- OEF P (フィリピン) : 第3無線大隊・第4海兵分遣
- 個々の増強 (IA)
 - 年間合計100人 : オフィサー70人 / 上級下士官30人



演習及び訓練



年間70+の演習：



第3海兵遠征軍 (MEF)の訓練は戦域安全保障協力

- キールゾルブ、フォール・イーグル及び ウルチ・フリーダム・ガーディアン(UFG)
- (韓国)
- バリカタン、「水陸両用上陸演習(PHIBLEX)」(フィリピン)
- コブラ・ゴールド(タイ)
- ターミナル・フューリー (統合任務部隊訓練)
- ヤマサクラ及びフォレスト・ライト(日本)
- タリスマン・セイバー(オーストラリア)
- 「協力海上即応訓練(CARAT)」(東南アジア諸国)
- 11MTWS(海兵隊戦術戦シミュレーション)08年度(アジア諸国)
- 海兵隊遠征隊(MEU)パトロール 種々

及び計画会議/サイト調査

遠隔地

ISOSによるところが大きい

ISOSの活用方法に注意

安全保障上の配慮

コミュニケ - ション計画

UNCLASSIFIED
人道的援助
災害救援



2004年12月 - 2005年3月
JTF-536 (536統合任務部隊) アジア津波救援

2005年10月 - 2006年3月
パキスタン地震救援

2006年3月 - 4月
フィリピン土石流救援

2006年5月 - 6月
インドネシア地震救援

2007年3月
レガスピ台風救援

2007年4月
ソロモン諸島津波救援

2007年11月 - 12月
バングラデシュ・サイクロトロン「海の天使
2」救援作戦

2008年5月 - 6月
ビルマ 「思いやり対応」作戦

2009年8月
台湾 台風救援

2009年10月
フィリピン台風及びインドネシア地震救援



質問・討議